

NANO TWO-ONE STYLE
組立説明書

お買いあげいただきありがとうございます。組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。
十分検査しておりますが、万一不良品又は部品不足などがございましたら、誠に恐縮ですが右記へご連絡ください。

Model Name,

ピュアリス 100ST
ストッカー100

Model No.

PRC-8010ST

完成図

●まずは部品をチェック ☒ しましょう。

 本製品を組み立てる際は、必ず2人で作業を行うようにしてください。

-  組み立てる時の注意点
- a) 本体を組み立てる時、ハンマーで 直接たたかないように 厚手の古雑誌などをあててたいてください。

b) 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様十分ご注意ください。

c) この説明書は、捨てずに必ず保管してください。

d) 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」についても 必ずお読みになって、捨てずに保管してください。

e) 接着剤塗布を指定してある箇所には、必ず接着剤を塗布 してください。尚、固まるまで2時間程度は、家具を動かさないで ください。

 組み立ての必需品

プラスドライバー

no.3

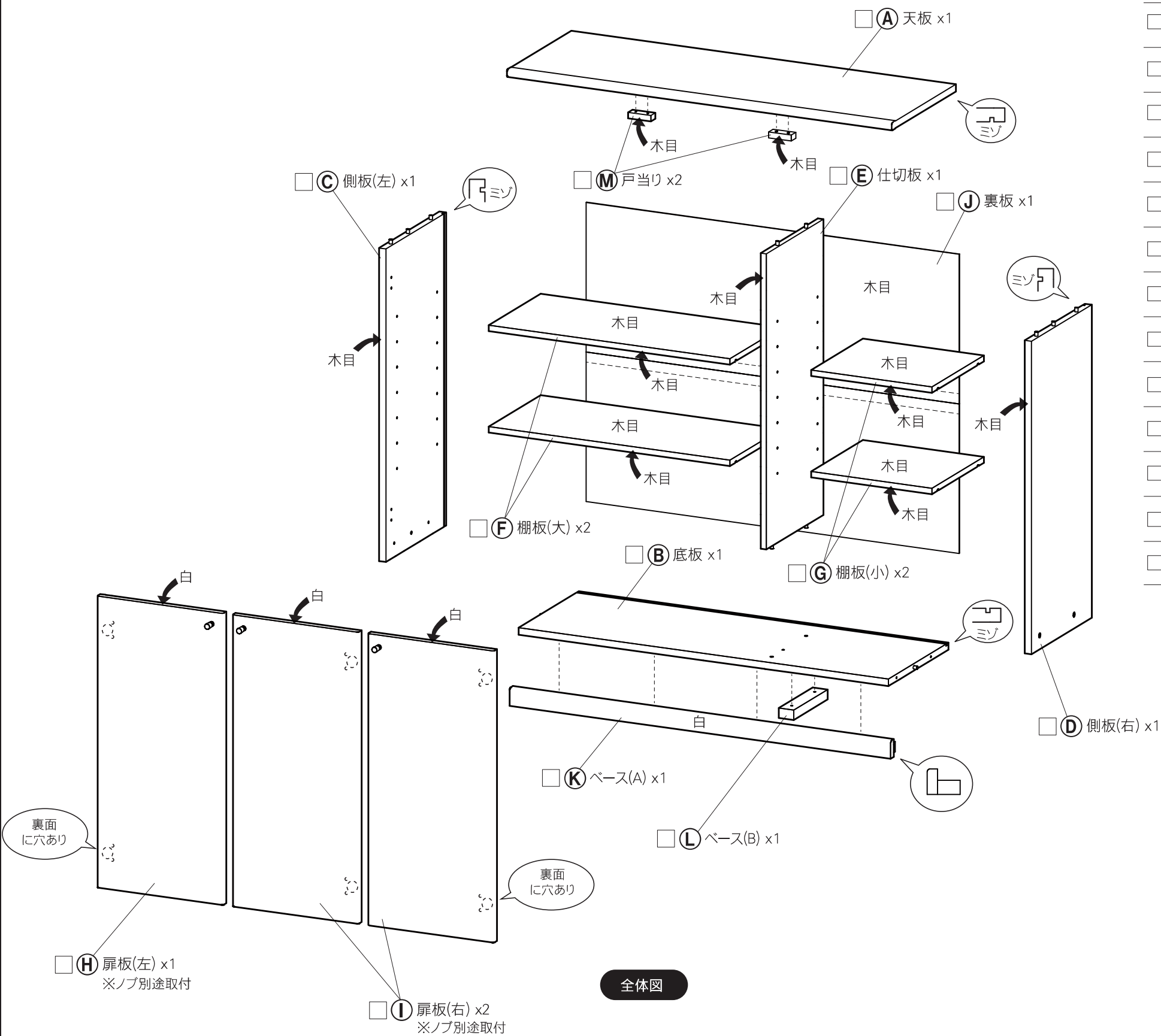
no.2

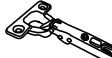
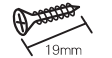
no.1

※ no.2 のドライバーを準備してください。

ハンマー

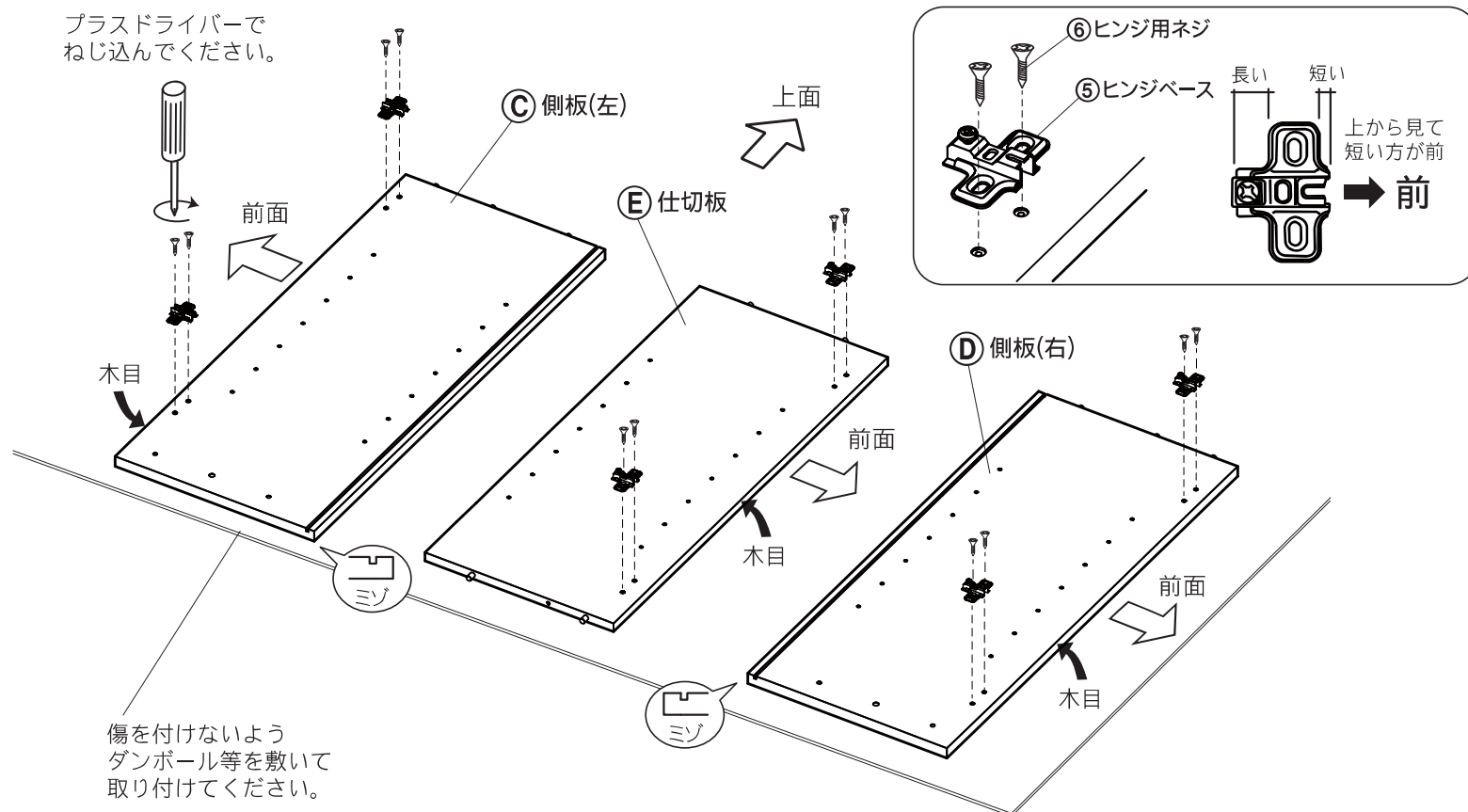




部品			
☐ ①	ラッパネジ		5
☐ ②	ベース・戸当り用ネジ		10
☐ ③	接着剤		1
☐ ④	スライドヒンジ		6
☐ ⑤	ヒンジベース		6
☐ ⑥	ヒンジ用ネジ		24
☐ ⑦	棚ピン		16
☐ ⑧	裏板ストッパー		8
☐ ⑨	裏板ストッパー用ネジ		8
☐ ⑩	ノブ		3
☐ ⑪	ノブ用ネジ		3
☐ ⑫	クッション		3
☐ ⑬	ネジ隠しシール		4

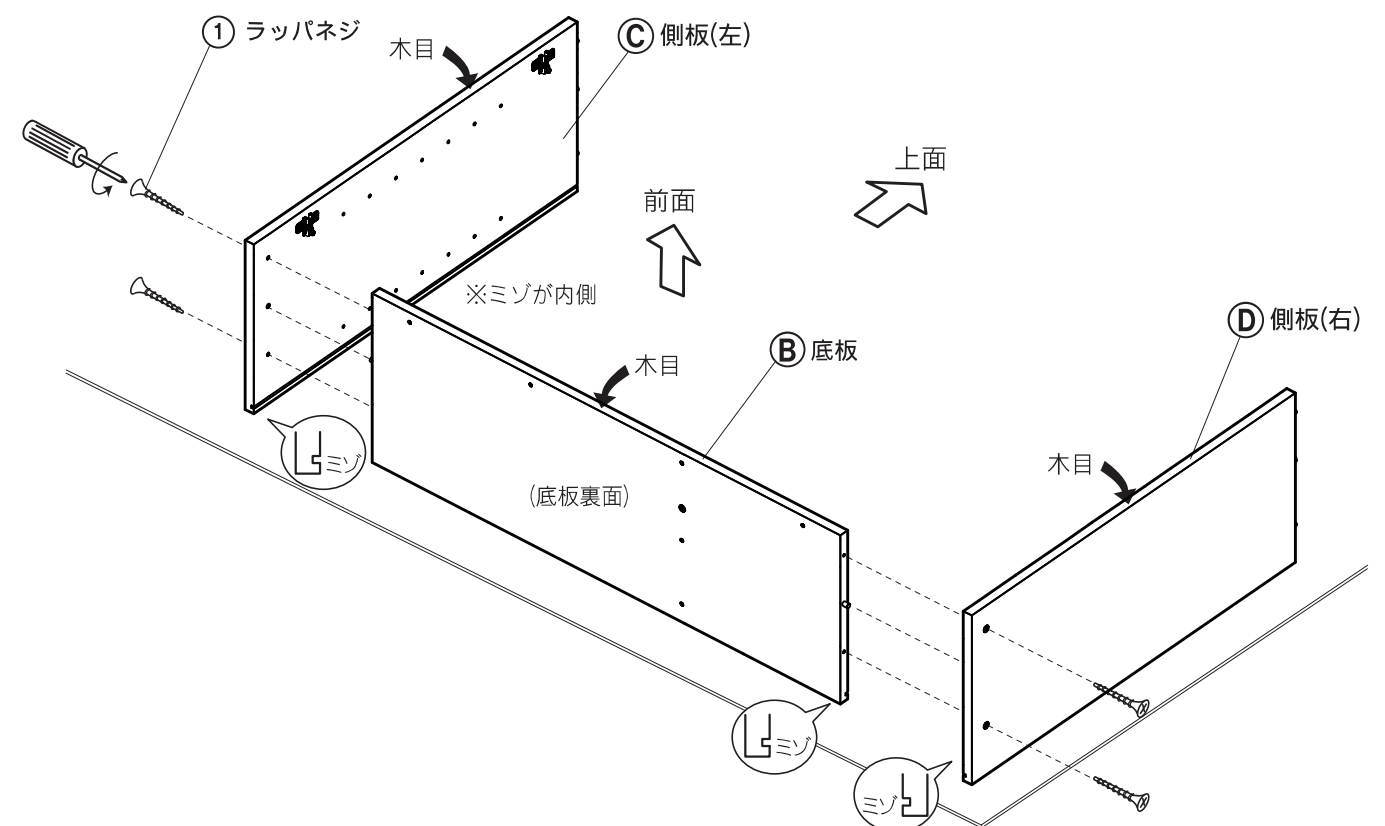
1 ① ③ ④ 側板(左)(右) ⑤ 仕切板にヒンジベースの取り付け

プラスドライバーで
ねじ込んでください。



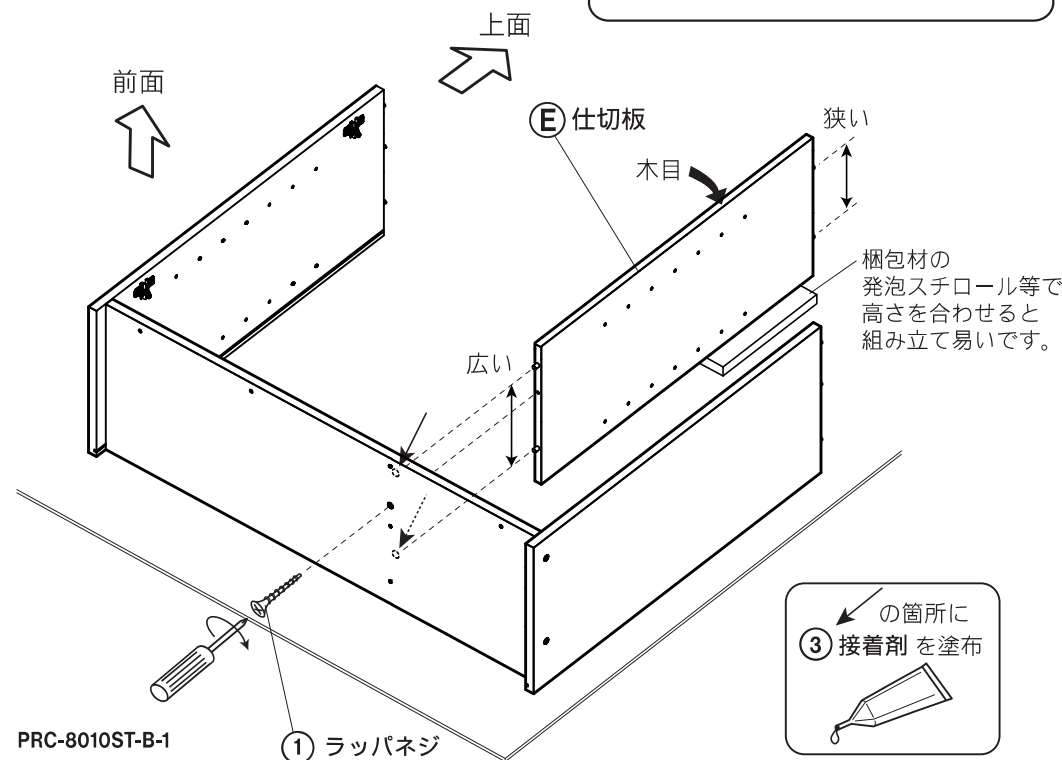
2 ② ③ ④ 側板(左)(右)の組み立て

※1人で作業するとケガをする恐れがある為、必ず2人でゆっくり作業してください。



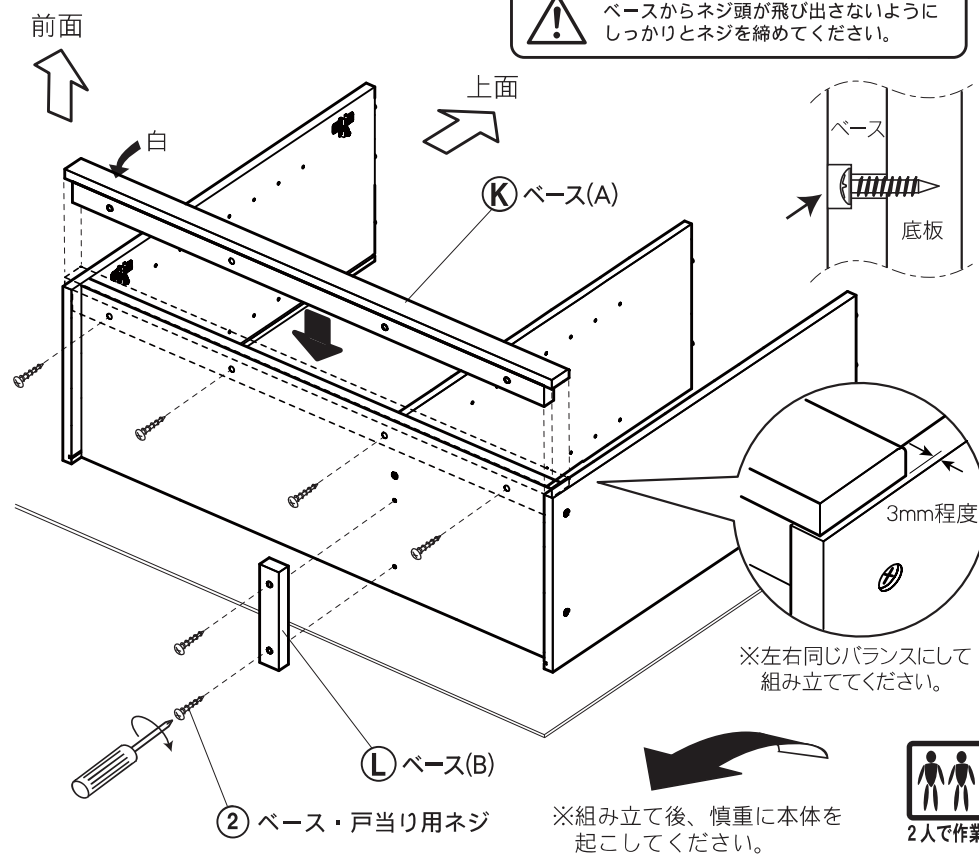
3 ⑤ 仕切板の組み立て

ハンマーなどで隙間の無い様に
しっかりと叩き込んでください。
その時、直接叩かず古雑誌等を
あててください。



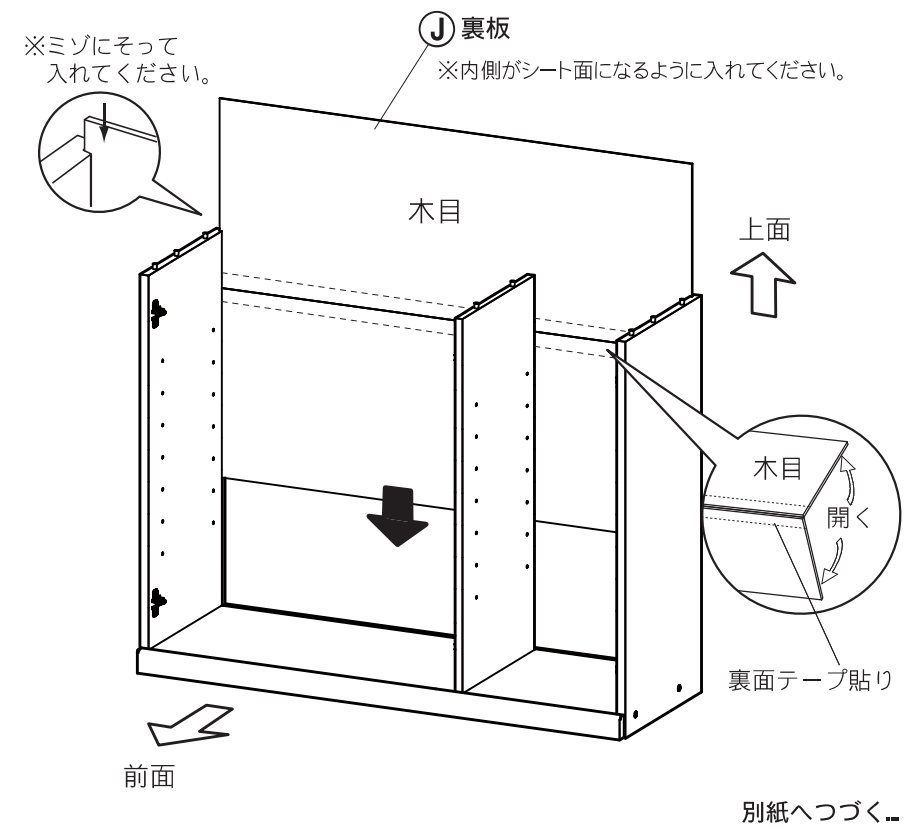
4 ⑥ ⑦ ベース(A)(B)の組み立て

⚠ ベースからネジ頭が飛び出さないように
しっかりとネジを締めてください。

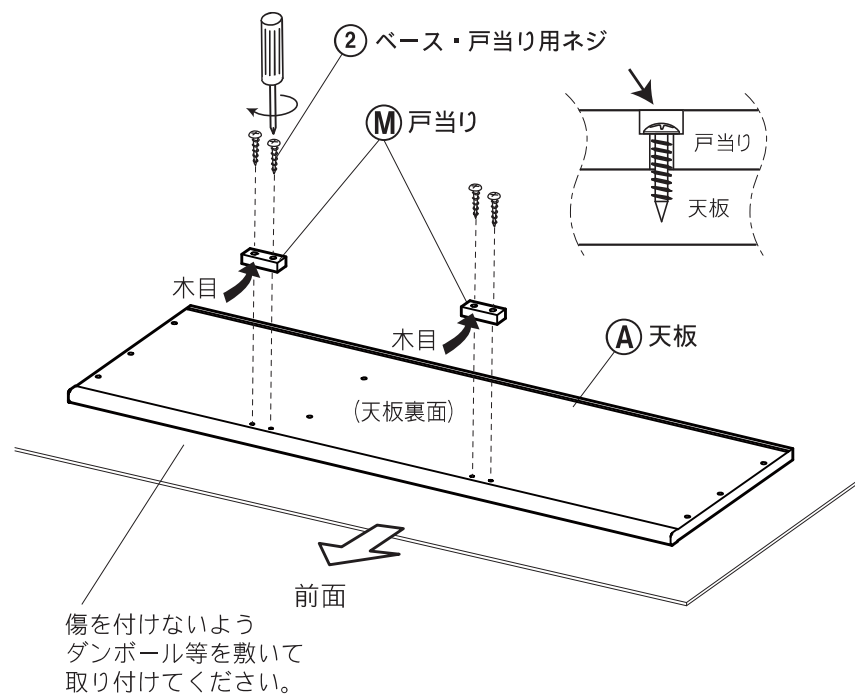


5 ⑧ 裏板の組み立て

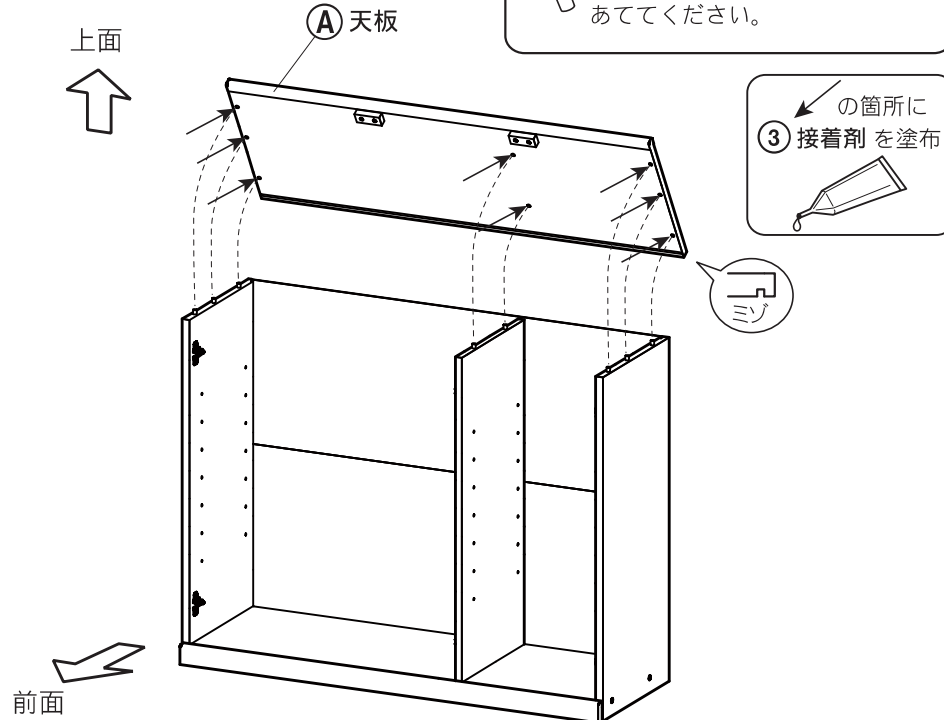
※ミソにそって
入れてください。



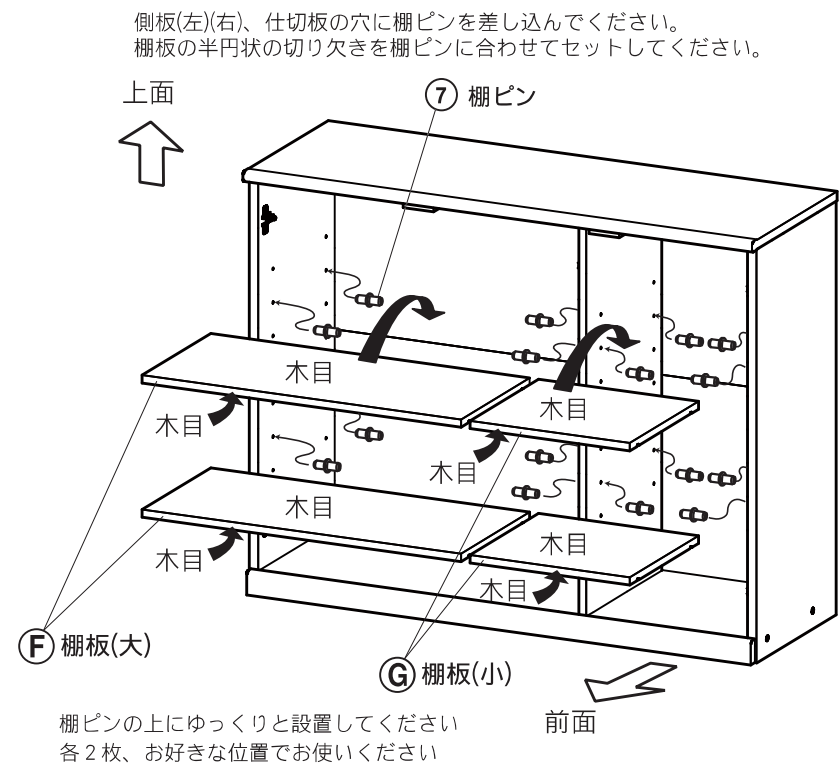
6 A 天板に M 戸当りの取り付け



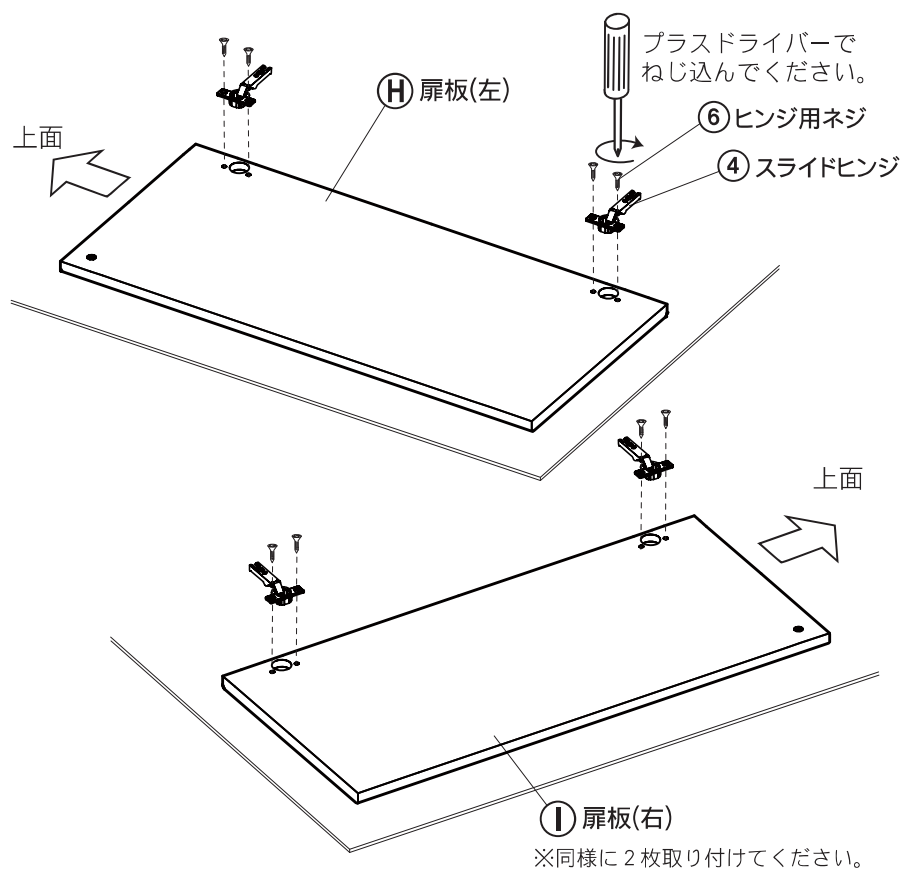
7 A 天板の組み立て



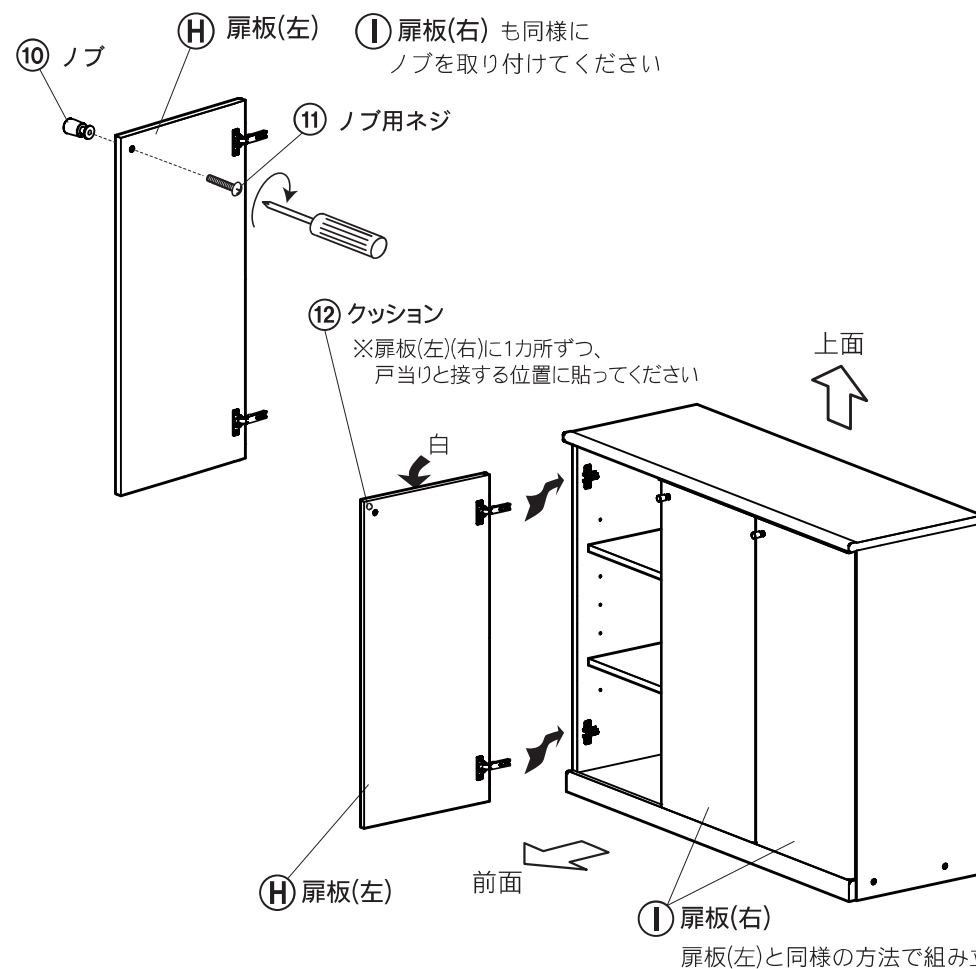
8 F G 棚板(大)(小)のセット



9 H I 扉板(左)(右)にスライドヒンジの取り付け



10 H I 扉板(左)(右)の組み立て



スライドヒンジの取り付け方

- 1 あらかじめ2ヶ所(a, b)のネジをゆるめておきます。
 - 2 切り欠きを通して奥にスライドさせます。
 - 3 ネジaをしっかりと締め付けます。
- 次にネジbを軽く締めます。

スライドヒンジ 3方向 調整方法

扉が下記の状態になった場合は・・・このネジで調整してください。

状態	調整ネジ
上下 にズレた。	側板・仕切板 扉
前後 にズレた。	側板・仕切板 扉
左右 にズレた。	側板・仕切板 扉

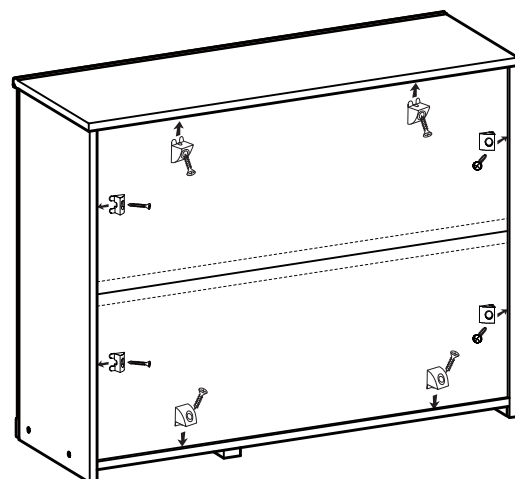
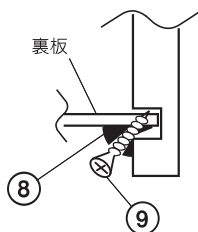
裏面へつづく...

11 裏板ストッパーの取り付け

裏板と側板、天板、底板の隙間に裏板ストッパーを差込み、ねじで固定してください。その際、前面の扉板を整えながら取り付けてください。

⑧ 裏板ストッパー

⑨ 裏板ストッパー用ネジ

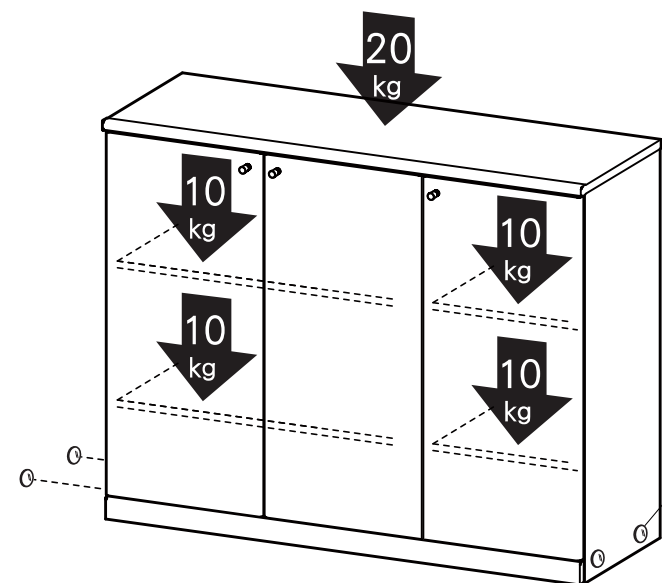


12 できあがり！

※移動の際は天板を持たないでください。
天板が外れてケガをする恐れがあります。

耐荷重の目安

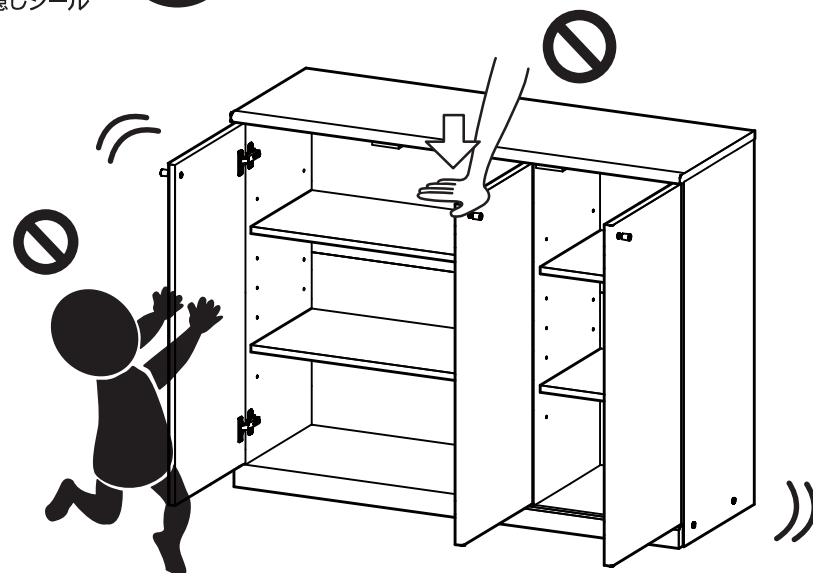
天板 20 kg
棚板(大) 10 kg
棚板(小) 10 kg



⑬ ネジ隠しシール

ご注意

扉板が開いた状態でもたれかからないでください。
本体が倒れたり、扉板が外れるなど、
破損やケガの原因となります。



ありがとうございました。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

ご使用にあたって

④引き出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっばいに引出すと 抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター（移動用小車）付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。本来の使用目的以外で使用されますと倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。人によってはアレルギー症状を引き起こす事がありますので、使い始めに十分換気をして取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取り付けてください。正しい位置に取り付けていないと、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。



一般社団法人 日本家具産業振興会